

活性化支援アプリを活用した ツーリズムの促進と広域連携 プログラムの提案

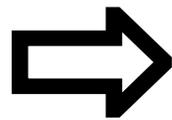
岐阜協立大学経営学部
山田実空， 山口栞奈

背景（利用者数の推移 1）

【自然環境局自然公園等利用者数】

（上高地、乗鞍高原、平湯、乗鞍鶴ヶ池）

2011年
1,857,000人



2014年
2,108,000人

約12%増

背景（利用者数の推移2）

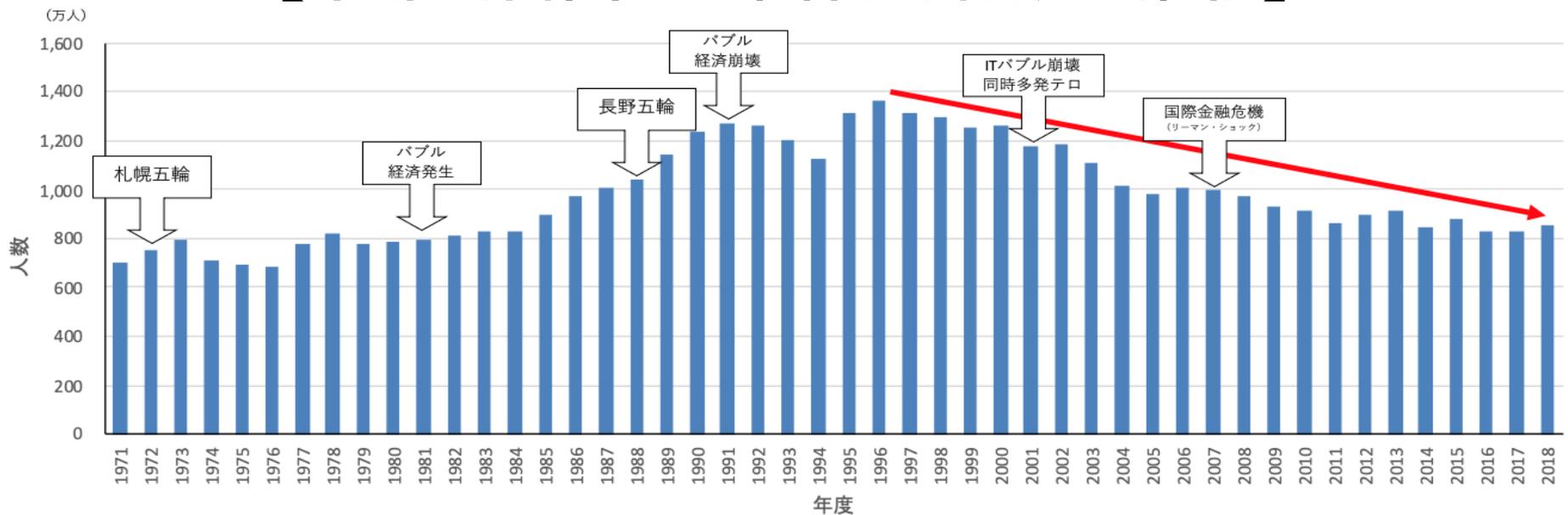
【2019年インバウンド観光客数】

- 国内で **4,000万人** 超え
- 本エリアに訪れる外国人観光客 **375,498人**
- 上高地、白骨、奥飛騨、平湯、新穂高に訪れた外国人の推移延べ利用人数 **67,000人**

全体の0.1%にも満たない

背景（社会状況）

【中部山岳国立公園利用者数の推移】



2018年環境省『自然公園等利用者数調（国立公園利用者数）』データより作図

背景（国家政策1）

【環境省】

- 「国立公園満喫プロジェクト」
- 「ナショナルパーク」
- 「国立公園ステップアッププログラム2020」

背景（国家政策2）

【明日の日本を支える観光ビジョン】

「観光先進国」への3つの視点と10の改革

- 観光資源の魅力を極め、「地方創生」の礎とする
- 「国立公園を世界水準のナショナルパーク」への取り組み
- 古い規制を見直し、生産性を大切にする観光産業
- 滞在型観光の促進
- 景観の優れた観光資産の保全・活用による魅力の向上
- 広域観光周遊ルートの世界水準への改善

背景（岐阜県の政策）

【中部山岳国立公園の目指すべき姿】

- 「地域の人々が誇りを持って暮らし，語ることのできる**持続可能な地域**となること」
- 「地域の魅力に惹かれた人々が国内外から集い，**滞在・交流する地域**となること」
- 「地域の人々とのこの地域を愛する人々によって，かけがえのない**大自然が持続的に維持**され，我が国の豊かな自然環境を代表する場所として**認知される地域**となること」

背景（地域政策）

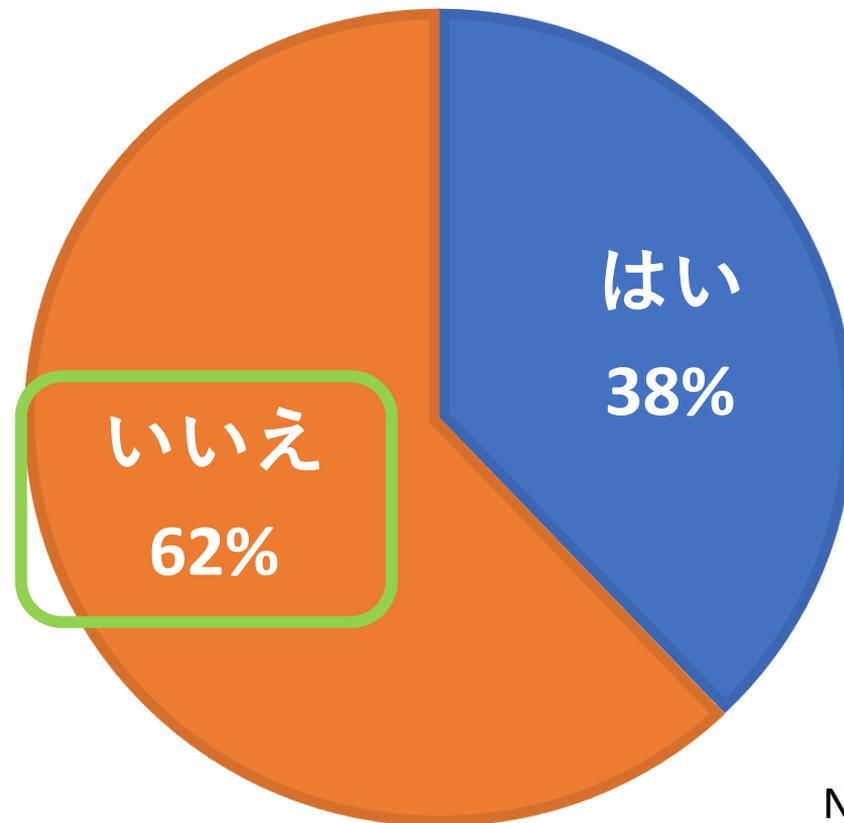
◎中部山岳国立公園南部地域利用推進協議会

- 中部山岳国立公園南部地域利用推進プログラム
2020
- 中部山岳国立公園南部地域利用推進プログラム
2025
- 「国立公園満喫プロジェクト」の全体目標

訪日外国人利用者数 1,000万人

課題の認識 (1)

中部山岳国立公園を知っているか

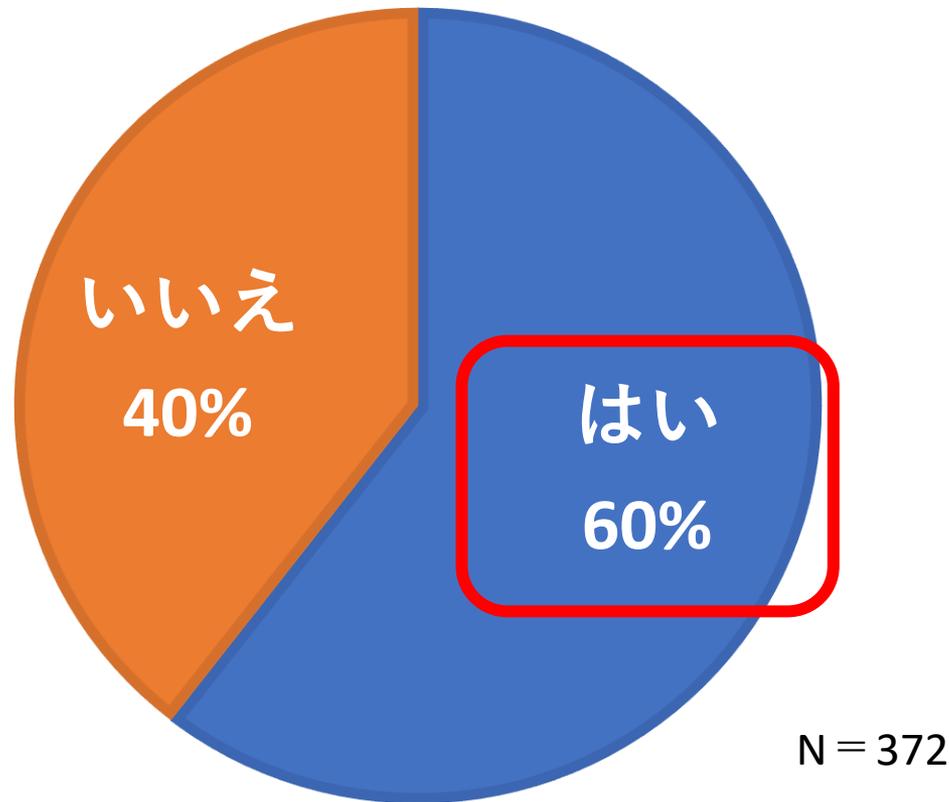


N = 372

※現地における直接聞取調査による集計とGoogle調査による

課題の認識（2）

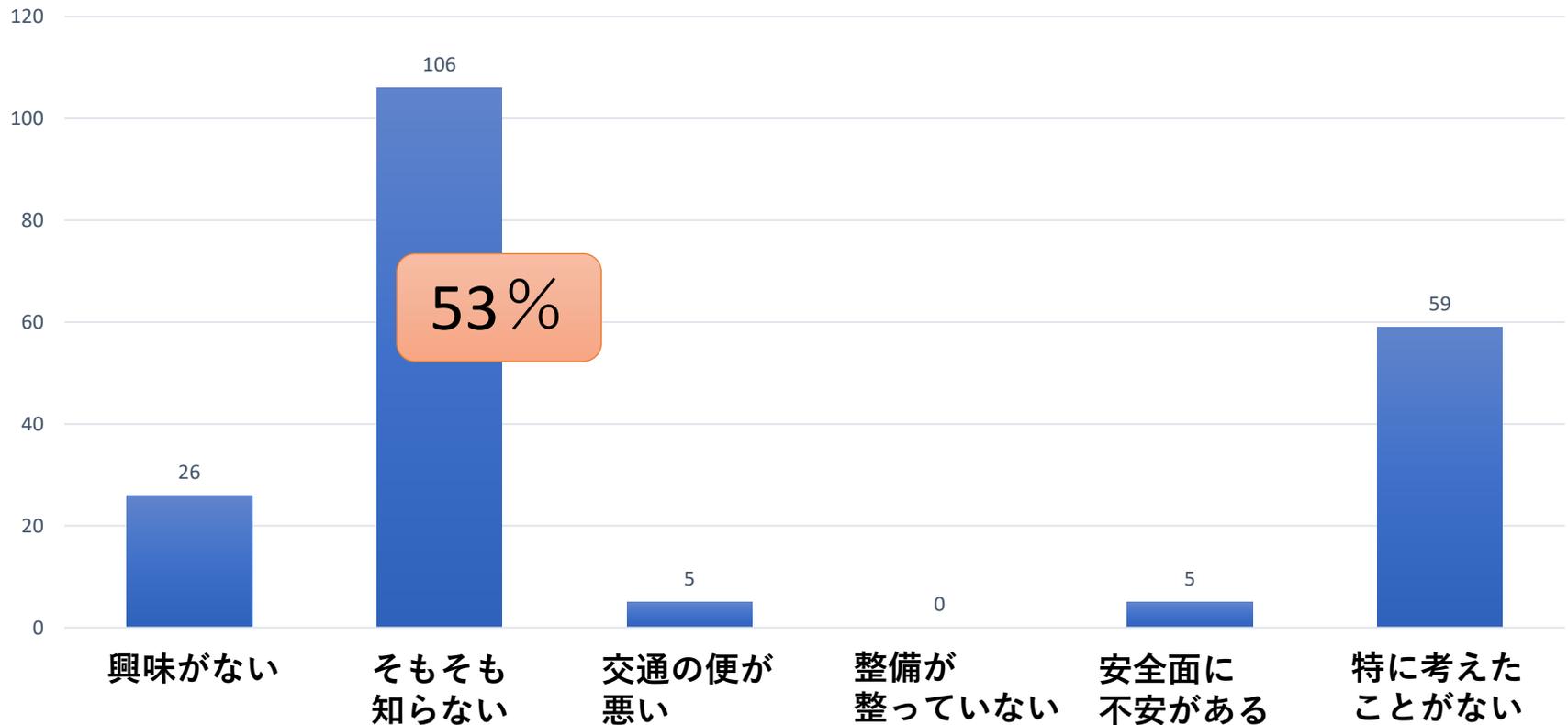
中部山岳国立公園に行ってみたいと思うか



※現地における直接聞取調査による集計とGoogle調査による

課題の認識 (3)

中部山岳国立公園に行こうと思わなかった理由



※現地における直接聞取調査による集計とGoogle調査による

N=201

提案の目的

【中部山岳国立公園南部地域によって整理された課題】

①利用実態の把握

②外国人向けサービスの充実

③滞在型利用の促進

④安全・安心・快適な利用環境の整備

⑤アクセスの利便性や周遊性の向上

⑥利用の推進に向けた上質な自然環境・景観の確保

⑦認知度の向上、プロモーション・情報発信の拡大

提案の概要（1）

【本計画の活性化提案の特徴】

- 保存すべき希少性の高い環境の保全・維持
- 様々な連携・協働関係の構築
- デジタルマーケティング技術を用いて活発な地域セールスの実現
- 様々な目的や多様化する価値観などを包含しながら、交流人口の活性化促進

提案の概要（2）

【目指すもの】

来訪者のリピート率の向上

地域における回遊性の向上

自然環境の希少性などを積極的に紹介

+

自治体の管理する公園エリアにおける

環境維持管理コストの補完機能を生み出す

提案の概要（3）

【ニューツーリズム】



スポーツ
ツーリズム



健康
ツーリズム



エコ
ツーリズム



グリーン
ツーリズム



文化・芸術
ツーリズム

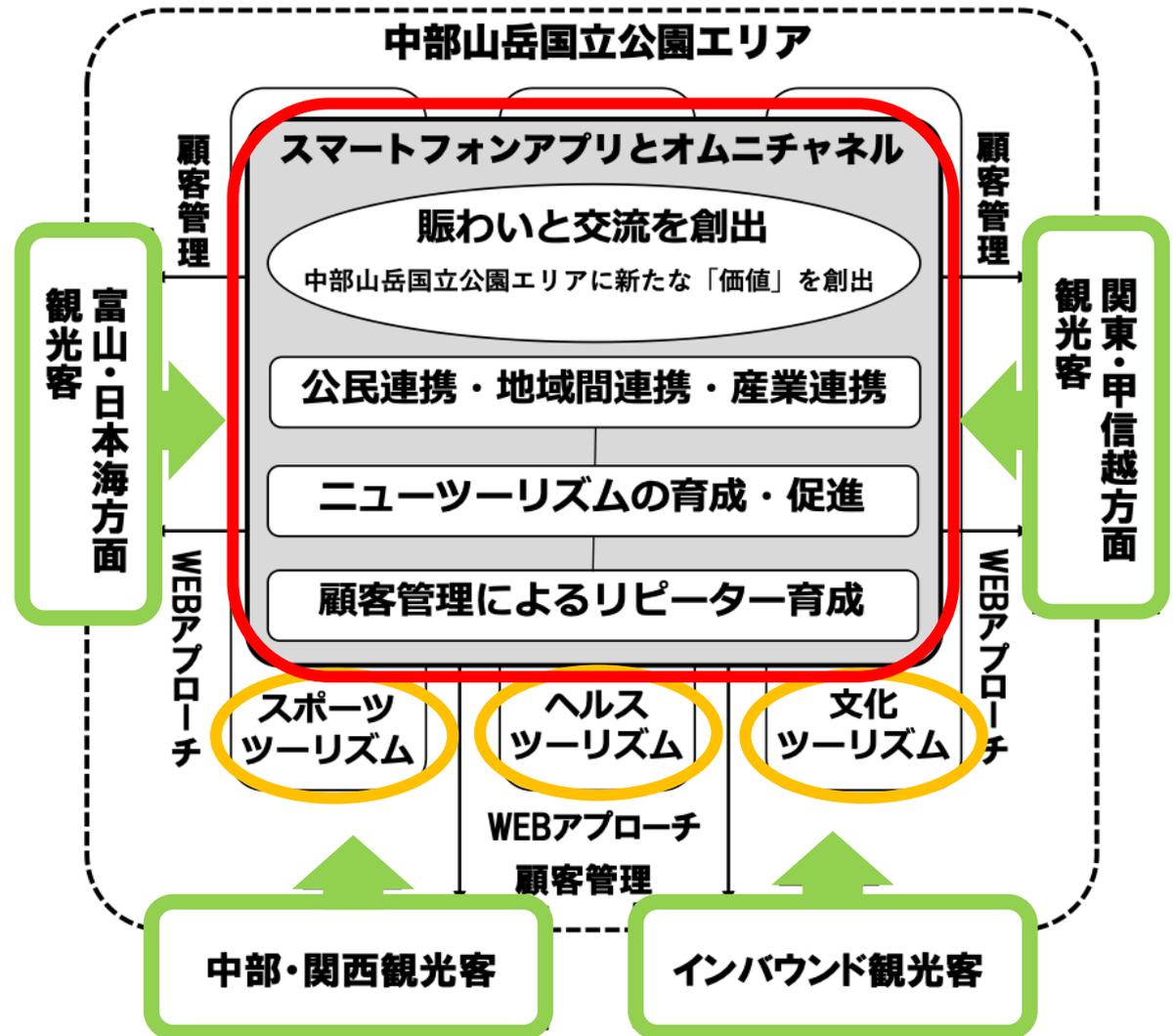


フード
ツーリズム



アウトドア
ツーリズム

本提案の効果（1）



本提案の効果（2）

【顧客管理】

行動履歴・購入履歴



優良顧客育成

地域に還元



地元環境の維持・継続

本提案の効果（3）

交流人口の促進

消費喚起による経済効果

地域産業の活性化

地域環境の維持・継続

ご清聴

ありがとうございました。